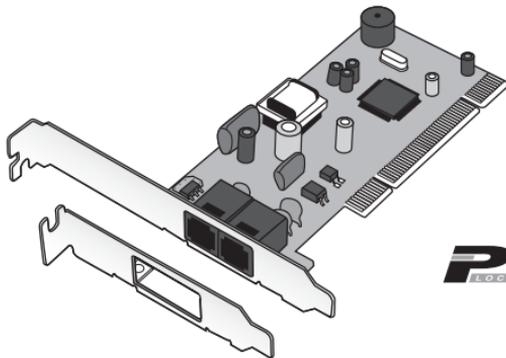


56K DATA/14.4K FAX MODEM PCI Board

REX-PCI56CX

ユーザーズマニュアル

2015年9月 第5.0版



PCI
LOCAL BUS



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

RATOC Systems, Inc.

<ご注意>

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

目次

● 安全にご使用いただくために	2
1 はじめに	3
-1. 動作環境	3
-2. 接続できる通信回線	3
-3. 内容物の確認	3
-4. 各部の名称	4
-5. ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードについて	4
-6. 使用上の注意	5
2 セットアップ	7
-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	7
-2. Low Profile PCIで使用する場合	8
-3. PCIボードの取り付け	8
3 ドライバーのインストールと確認、モデムとの通信	10
-1. Windows 10/8.1/8/7/Vistaの場合	10
-2. Windows XPの場合	17
-3. Windows 2000の場合	22
4 ドライバーのアンインストール	28
-1. Windows 10/8.1/8/7/Vistaの場合	28
-2. Windows XPの場合	29
-3. Windows 2000の場合	29
5 トラブルシューティング	30
-1. パルスで発信できない場合	30
-2. ATコマンドが正常に返答されない場合	31
-3. その他	32
6 お問い合わせ	33
-1. 本製品に関するお問い合わせ	33
-2. 修理について	34
7 一般仕様	35
● REX-PCI56CX 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカー等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり臭いがする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、十分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

1 はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

1 -1. 動作環境

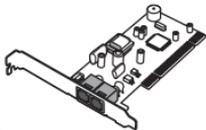
- ◆ 対応OS : Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP/2000
※32ビット・64ビット両対応。(Windows 2000除く)
※仮想マシン環境での使用はサポートしていません。
※Windows 8.1(64ビット)で Windows FAX とスキャンを使用する場合は、Windows Update [更新プログラム(KB3000850)]が必要です。
- ◆ 対応機種 : PCIスロット (PCI Rev.2.1以上) を装備したWindows PC
※Pentium 233MHz以上を推奨

1 -2. 接続できる通信回線

- ◆ アナログ一般公衆回線 / ISDNアナログポート
※接続できない回線・・・アナログ携帯電話 / PHS / デジタル携帯電話 / ビジネスフォン / ISDN

1 -3. 内容物の確認

内容物は次の6点です。内容物に不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



① REX-PC156CX
(56K DATA/14.4K FAX
MODEM PCIボード)



② Low Profile用
プラケット



③ モジュラー
ケーブル
(180cm)



④ ソフトウェア
CD-ROM

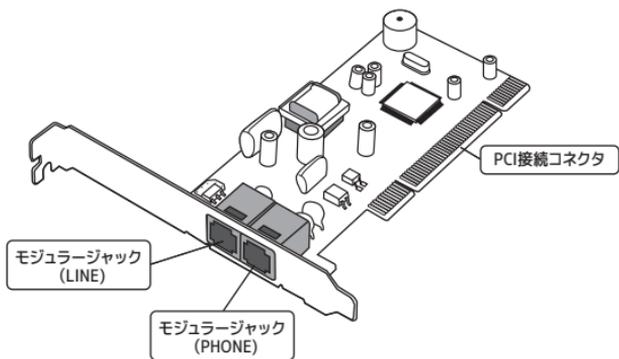


⑤ ユーザーズ
マニュアル
(本書)



⑥ 保証書

1 -4. 各部の名称



1 -5. ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードについて

ATコマンドは米国Hayes社が開発したモデム制御コマンドです。REX-PCI56CXへの制御は、このATコマンドによっておこないます。

このマニュアルでは、ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコードを記載しておりません。これは通常使用する場合、特に意識する必要が無いからです。

もし、必要な場合は、ATコマンド・Sレジスタ・リザルトコード一覧を製品添付CD-ROM内のATCOMMAND.TXTファイルにて用意しておりますので、ご参照ください。

7 -6. 使用上の注意

本製品はパソコンなどのOA機器に使用することを目的として製造されています。

- 一般製品より高い信頼性が要求または、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途に使用しないでください。
- 医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用はしないでください。

本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

- 天災あるいは、本製品の故障・誤作動・停電によって生じた通信障害に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- パソコンでFAXを使用するには、FAXソフト（Class1対応）が必要です。Windows VistaのHome Basic/Home Premium EditionにはFAXソフトは標準添付されていません。
- Class2のみ対応のFAXソフトは使用できません。
- 本製品はNTT加入回線用に設計されています。ボタン電話・ビジネスフォン・ホームテレフォン・家庭用キーテレフォン・PBX（構内交換機）・ADSL・光電話等では、NTTの電話回線と電氣的条件が異なり接続できないことがあります。接続する場合は装置メーカーや保守会社にお問い合わせください。
- キャッチホンサービスを契約している電話回線での使用は避けてください。
- ISDN回線には直接接続できません。必ず、ターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。
- ナンバーディスプレイの動作は保証していません。

- +48V給電のないターミナルアダプターでは利用できません。ターミナルアダプターの仕様については各メーカーにお問い合わせください。
- 回線分配器などに接続した場合、正常に動作しないことがあります。
- 環境（回線品質・回線状況・接続先の通信規格）によってはDCE速度が56Kbpsで接続できない場合があります。
- 環境によってはFAXの自動着信ができない場合があります。
- ITU-TV.92で通信するにはプロバイダー側がV.92に対応している必要があります。
- Wake Up on Ringには対応していません。
- 電話機を使用した発着信や通信をおこなわない場合は、電話機を接続する必要はありません。
- 長期間無人で使用する場合は、正しく動作していることを必ず定期的に確認してください。

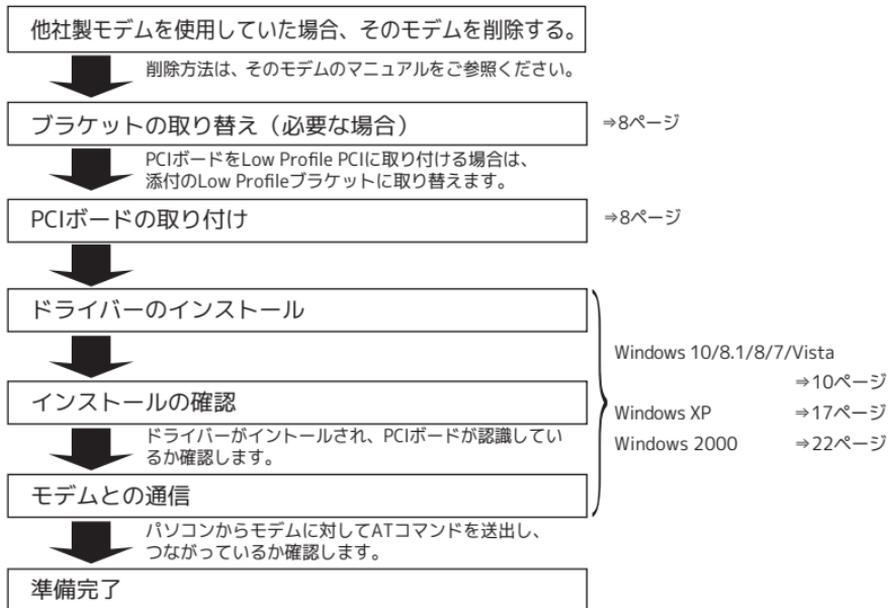
雷サージ保護装置の併用をお勧めします。

雷などによるサージ電圧（瞬間的・断続的な過電圧）から本製品を保護する回路を内蔵していますが、より効果の高い保護対策を希望される場合は、雷サージ保護装置を併用することをお勧めします。

なお、雷などの天災による故障の場合は、保証対象外となります。

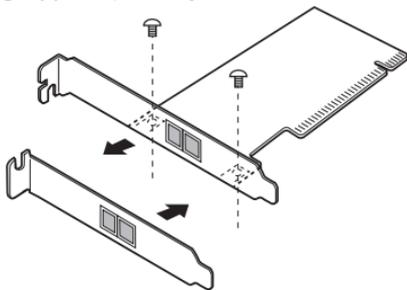
2 セットアップ

2-1. 本製品が使えるようになるまでの手順



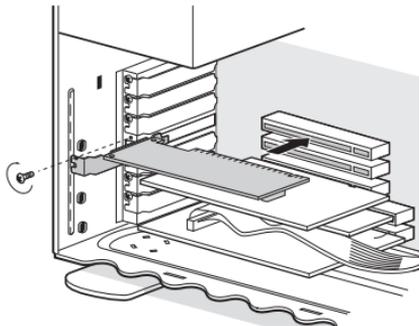
2 -2. Low Profile PCIで使用する場合

Low Profile (ロー・プロファイル) PCIスロット搭載パソコンで使用する場合は、添付のブラケットに付け替えてください。



2 -3. PCIボードの取り付け

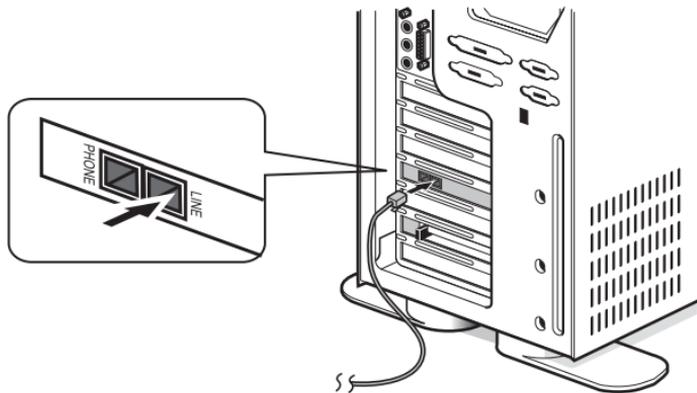
1. パソコンの電源を切ります。
2. PCIスロットに、PCIボードを取り付けます。



⚠ 注意

- スロットに対し、ボードが傾いた状態で装着し利用すると、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットに完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、十分注意して作業をおこなってください。

- 3.** モデムのケーブルは、次の通りに接続してください。
※モデムのケーブル接続はセットアップ完了後でも問題ありません。



ブラケットのLINEと刻印された方に電話回線を接続します。
電話機を接続する場合、PHONEと刻印された方に電話機を接続します。

3

ドライバーのインストールと確認、モデムとの通信

3-1. Windows 10/8.1/8/7/Vistaの場合

(1) ドライバーのインストール

PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れると、ドライバーが自動的にインストールされます。(画面は表示されません。製品添付のCD-ROMは使用しません。)

(2) インストール確認とモデムとの通信

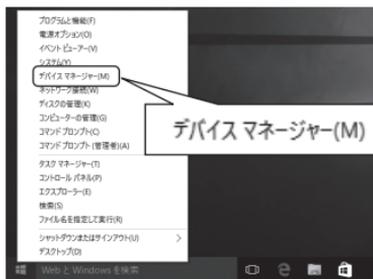
1. デバイスマネージャーを開きます。

※以下、デバイスマネージャーの開き方の一例を説明します。

Windows 10の場合

Windowsキー  を押しながら
Xキー  を押し、表示された一覧
から【**デバイスマネージャー**】を
クリック。

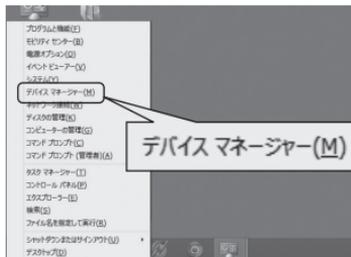
※画面左下の【スタート】を右クリックし
ても、右記の一覧を表示できます。



Windows 8.1/8の場合

- ① スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面に切り替え。
- ② Windowsキー  を押しながら Xキー  を押し、表示された一覧から【デバイスマネージャー】をクリック。

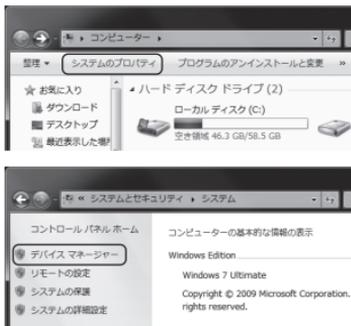
※画面左下の【スタート】を右クリックしても、右記の一覧を表示できます。



Windows 7/Vistaの場合

- ①【スタート】→【コンピューター】を開き、コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリック。
- ②タスクから【デバイスマネージャー】をクリック。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合、【はい】または【続行】ボタンをクリック。



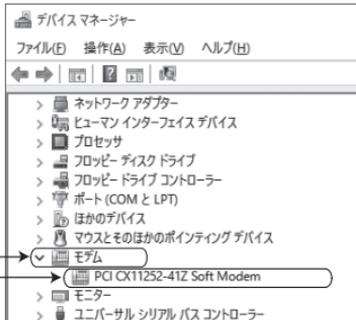
2. 【デバイスマネージャー】の画面から、次の点を確認します。

※デバイスマネージャーの画面例はWindows 10の場合です。

①【モデム】をダブルクリック。

②【PCI CX11252-41Z Soft Modem】 または【PCI SoftV92 Modem】が 表示されていれば、ドライバーは正 常にインストールされています。

※Windows Vistaの場合、
【In-Build CX11252-41z modem】と表示
されます。



表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。
8ページ 2-3. に戻り、PCIボードを確実に取り付け（別の空きスロットに装着
するなど）、再度インストールをおこなってください。

3. 【PCI CX11252-41Z Soft Modem】をダブルクリックし、【PCI CX11252-41Z Soft Modem のプロパティ】を開いてください。

4. 【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作しています”と
表示されていることを確認してください。

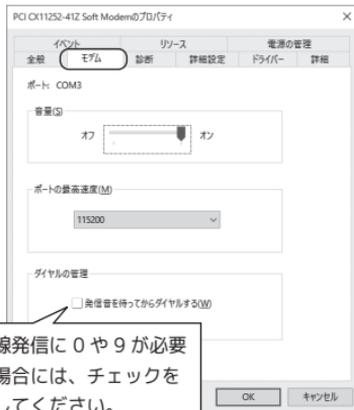
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



5. 【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに 0 や 9 を回す必要のある構内回線を使用している場合は、【発信音を待ってからダイヤルする】のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が必要な場合には、チェックを外してください。

6. 【診断】タブ

【モデムの照会】をクリックし、右記の画面に変わることを確認してください。
【OK】をクリックして処理を終了します。

これでモデムとの通信テストは終了です。



右記画面に変わらない場合は、
31ページ **5-2** をご参照ください。



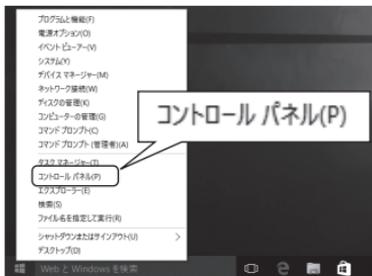
7. コントロールパネルを開きます。

※以下、コントロールパネルの開き方の一例を説明します。

Windows 10の場合

Windowsキー  を押しながら
Xキー  を押し、表示された一覧
から【コントロールパネル】を
クリック。

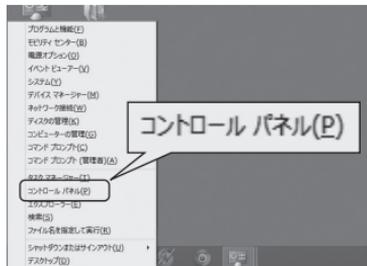
※画面左下の【スタート】を右クリック
しても、右記の一覧を表示できます。



Windows 8.1/8の場合

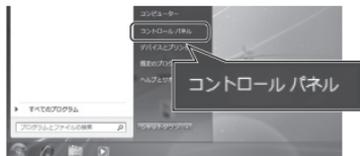
- ① スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面に切り替え。
- ② Windowsキー  を押しながら
Xキー  を押し、表示された一覧
から【コントロールパネル】を
クリック。

※画面左下の【スタート】を右クリック
しても、右記の一覧を表示できます。



Windows 7/Vistaの場合

【スタート】→【コントロールパネル】
をクリック。



8. コントロールパネルの【電話とモデム】 アイコンを選択します。

※【電話とモデム】アイコンが確認できない場合は、表示方法を【大きいアイコン】に変更してください。

※Windows Vistaの場合は【クラシック表示】に設定してください。

右記の画面が起動した場合は、“市外局番/エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。

“06”は例です。
市外局番/エリアコードは、お客様がご使用になる場所の番号を入力してください。

Windows 10/8.1/8/7の場合



電話とモデム

Windows Vistaの場合



電話とモデム
のオプション

所在地情報

電話またはモデムによる接続を行う前に、現在の所在地情報を設定する必要があります。

国名/地域名(国)
日本

市外局番/エリアコード(国)
06

電話会社の識別番号(指定する必要がある場合)(国)
[]

外線発信番号(国)
[]

ダイヤル方法:
 トーン(1) パルス(2)

OK キャンセル

9. 次の画面で【編集】をクリックします。



10. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法

- ・トーン=プッシュホン回線
- ・パルス=ダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が必要な場合には、必ず外線発信番号に数字と“,”を入れてください。
例：0,



11. モジュージャックにモデムケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定をおこなってください。

以上で、インストールとモデムの通信設定は完了です。

3 -2. Windows XPの場合

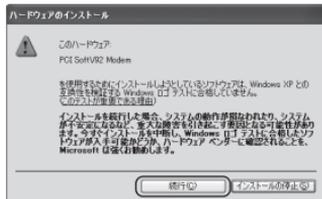
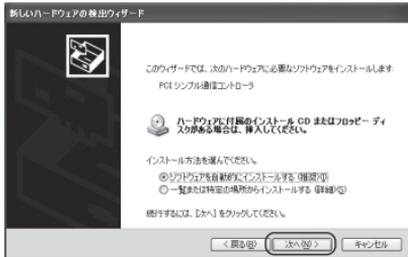
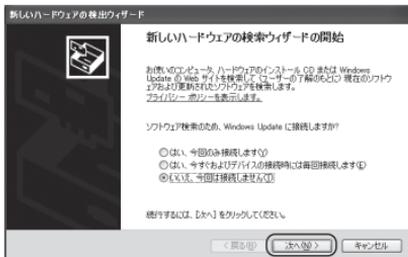
(1) ドライバーのインストール

1. PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れると、新しいハードウェアとして認識され、ウィザードが開始されます。

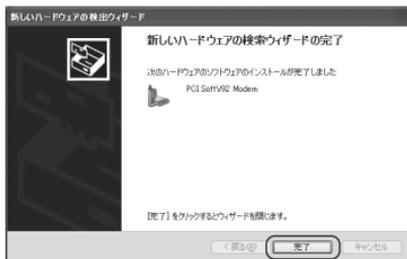
【いいえ、今回は接続しません】を選択し、【次へ】をクリックしてください。

2. 製品に添付されている CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。
【ソフトウェアを自動的にインストールする】を選択し、【次へ】をクリックしてください。

3. 次の画面が表示されます。
【続行】をクリックしてください。



4. ドライバーのインストールは完了です。
【完了】をクリックしてください。



(2) インストール確認とモデムとの通信

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【パフォーマンスとメンテナンス】→【システム】をクリックします。【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックします。

2. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認します。

① 【モデム】をダブルクリック。

② 【PCI SoftV92 Modem】が表示されていれば、ドライバーは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。8ページ 2-3. に戻り、PCIボードを確実に取り付け（別の空きスロットに装着するなど）、再度インストールをおこなってください。

3. 【PCI SoftV92 Modem】をダブルクリックし、【PCI SoftV92 Modem のプロパティ】画面を開きます。

4. 【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作しています”と表示されていることを確認してください。

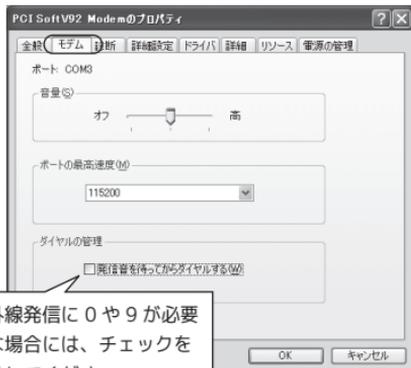
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



5. 【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに0や9を回す必要のある構内回線を使用している場合は、【発信音を待ってからダイヤルする】のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。



6. 【診断】タブ

【モデムの照会】をクリックし、右記の画面に変わることをご確認ください。【OK】をクリックして処理を終了します。

これでモデムとの通信テストは終了です。



右記画面に変わらない場合は、31ページ **図 2** をご参照ください。

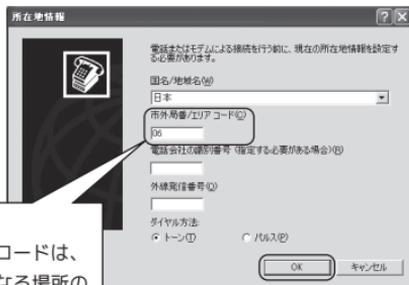


7. コントロールパネルを開き、【電話とモデムのオプション】アイコンを選択します。

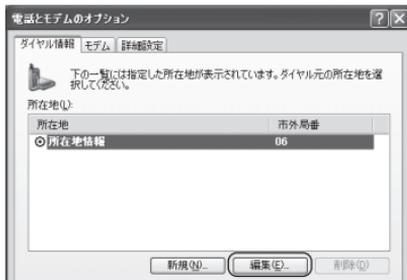
※【電話とモデムのオプション】アイコンが確認できない場合は、表示方法を【クラシック表示】に設定してください。

右記の画面が起動した場合は、“市外局番/エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。

“06”は例です。
市外局番/エリアコードは、お客様がご使用になる場所の番号を入力してください。



8. 次の画面で【編集】をクリックします。



9. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

ダイヤル方法

- ・トーン=プッシュホン回線
- ・パルス=ダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてください。



外線発信に0や9が必要な場合には、必ず外線発信番号に数字と“,”を入れてください。
例：0,



10. モジュージャックにモデムケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定をおこなってください。

以上で、インストールとモデムの通信設定は完了です。

3 -3. Windows 2000の場合

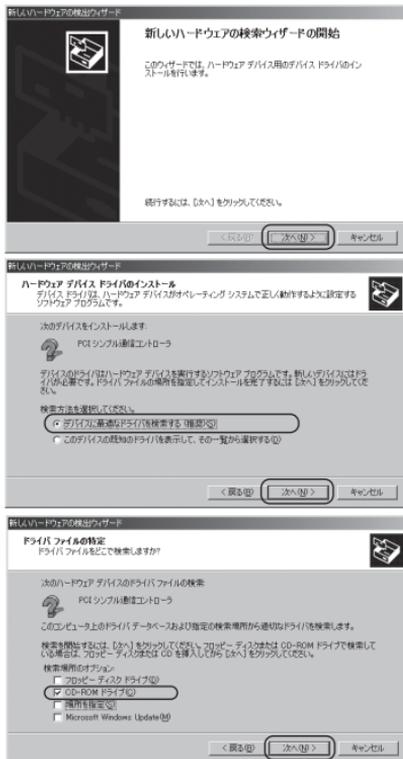
(1) ドライバーのインストール

1. PCIボードを取り付け後、パソコンの電源を入れると、新しいハードウェアとして認識され、ウィザードが開始されます。

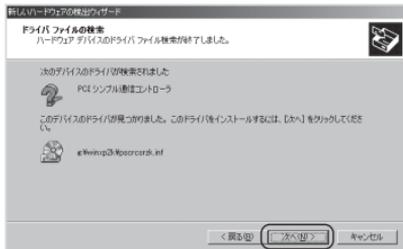
製品に添付されているCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。【次へ】をクリックしてください。

2. 【デバイスに最適なドライバを検索する】を選択し、【次へ】をクリックしてください。

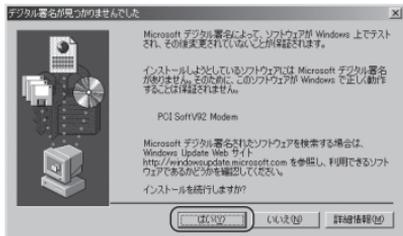
3. ドライバファイルの検索先として【CD-ROMドライブ】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



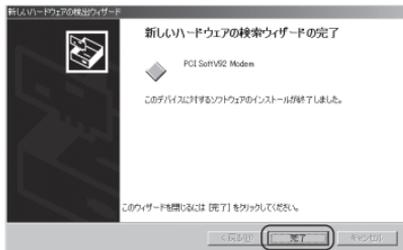
4. 【次へ】をクリックしてください。



5. 次の画面が表示されます。 【はい】をクリックしてください。



6. ドライバーのインストールは完了です。 【完了】をクリックしてください。

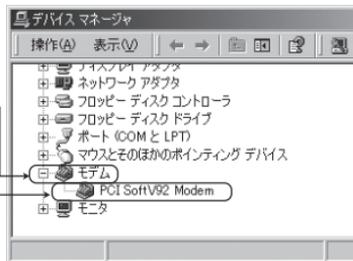


(2) インストール確認とモデムとの通信

1. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックします。【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックします。

2. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認します。

- ① 【モデム】をダブルクリック。
- ② 【PCI SoftV92 Modem】が表示されていれば、ドライバーは正常にインストールされています。



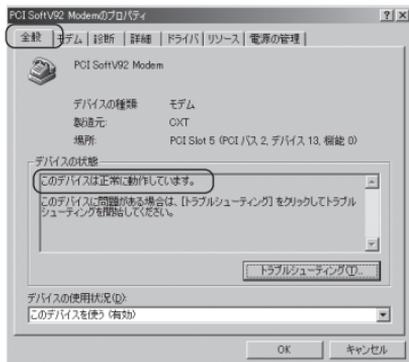
表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。8ページ 2-3. に戻り、PCIボードを確実に取り付け（別の空きスロットに装着するなど）、再度インストールをおこなってください。

3. 【PCI SoftV92 Modem】をダブルクリックし、【PCI SoftV92 Modem のプロパティ】画面を開きます。

4.【全般】タブ

“このデバイスは正常に動作しています”と表示されていることを確認してください。

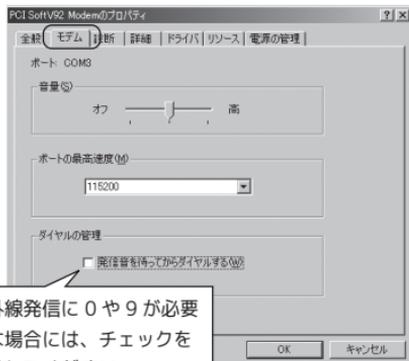
次に、【モデム】タブをクリックしてください。



5.【モデム】タブ

外線発信をおこなう場合や、はじめに 0 や 9 を回す必要のある構内回線を使用している場合は、【発信音を待ってからダイヤルする】のチェックを外してください。

次に、【診断】タブをクリックしてください。



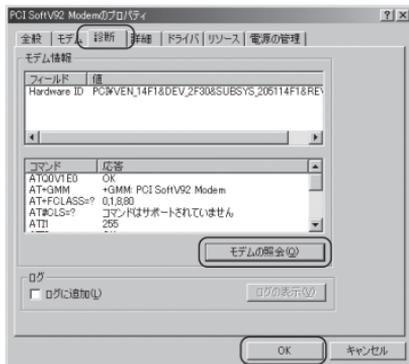
6.【診断】タブ

【モデムの照会】をクリックし、右記の画面に変わることをご確認ください。【OK】をクリックして処理を終了します。

これでモデムとの通信テストは終了です。



右記画面に変わらない場合は、31ページ **6-2** をご参照ください。

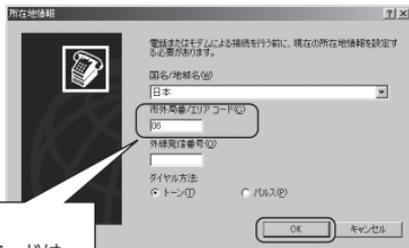


7. コントロールパネルを開き、【電話とモデムのオプション】アイコンを選択します。

右記の画面が起動した場合は、“市外局番/エリアコード”を入力し【OK】をクリックしてください。

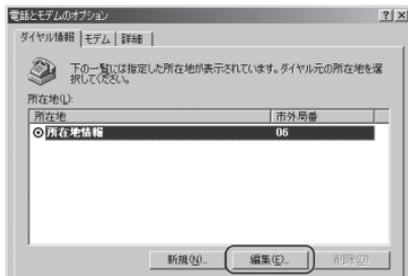


電話とモデムのオプション



“06”は例です。
市外局番/エリアコードは、お客様がご使用になる場所の番号を入力してください。

8. 次の画面で【編集】をクリックします。



9. 次の画面で外線発信番号やダイヤル方式の設定をしてください。

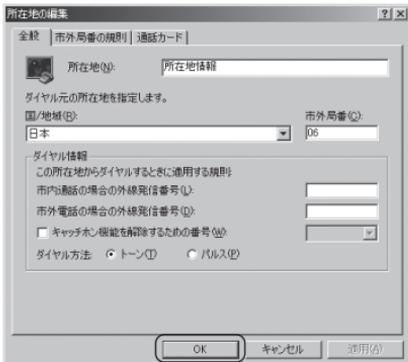
ダイヤル方法

- ・トーン=プッシュホン回線
- ・パルス=ダイヤル回線

内容を確認して【OK】をクリックしてください。



外線発信に 0 や 9 が必要な場合には、必ず外線発信番号に数字と“,”を入れてください。
例：0,



10. モジュージャックにモデムケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定をおこなってください。

以上で、インストールとモデムの通信設定は完了です。

4 ドライバーのアンインストール

登録したデバイスを削除する場合のみおこなってください。

4 -1. Windows 10/8.1/8/7/Vistaの場合

※画面例は Windows 10 の場合です。

1. 本書 10 ページから 11 ページを参照に【デバイスマネージャー】を開きます。

2. 【モデム】をダブルクリック、【PCI CX11252-41Z Soft Modem】または【PCI SoftV92 Modem】を右クリックし、メニューから【削除】を選択します。



3. デバイスのアンインストールの確認画面が表示されますので、【OK】をクリックしてください。



4 -2. Windows XPの場合

1. コントロールパネルの【プログラムの追加と削除】を開きます。
2. 【PCI SoftV92 Modem】を選択し、【変更と削除】をクリックします。



4 -3. Windows 2000の場合

1. コントロールパネルの【アプリケーションの追加と削除】を開きます。
2. 【PCI SoftV92 Modem】を選択し、【変更と削除】をクリックします。



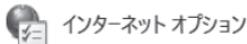
5 トラブルシューティング

5 -1. パルスで発信できない場合

【電話とモデムのオプション】のダイヤル設定にて「パルス」を選択しているにも関わらず、ダイヤルアップ接続でトーン音がして接続できない場合、以下の設定をおこなってください。(画面は Windows 10 の場合です)

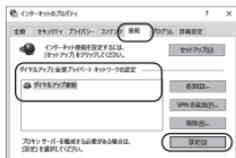
1. コントロールパネルの【インターネットオプション】を開きます。

※【インターネットオプション】が確認できない場合は、表示方法を【大きいアイコン】に設定してください。
Windows Vista の場合は【クラシック表示】に設定してください。



インターネットオプション

2. 【インターネットのプロパティ】画面の【接続】タブをクリックします。



3. 「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」から、設定する名称(右記画面の場合【ダイヤルアップ接続】)を選択し、【設定】をクリックします。

4. 「xxx の設定 (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。【プロパティ】をクリックします。



5. 「xxx プロパティ (xxx は選択した名称)」画面が表示されます。「ダイヤル情報を使う」にチェックを入れ、「市外局番」を入力してください。

6. 各画面にて【OK】ボタンをクリックし、終了します。接続可能かご確認ください。



5 -2. ATコマンドが正常に返送されない場合

ATコマンドが正常に返答されない場合、または「ポートが開かれていません」などとメッセージが表示される場合、以下の設定をおこなっても同様にご確認ください。

- 他にソフトウェア (特にモデム、COMポートを使用する) が起動している場合、そのソフトウェアを終了します。
- コントロールパネルの「電話とモデム (または、電話とモデムのオプション)」の「モデム」タブにて、本製品以外のモデムが登録されている場合、その他のモデムを削除します。あるいはすべてのデバイスを削除し、パソコンを再起動して、本製品のみを登録します。
- 28ページ **4** **ドライバーのアンインストール**を参照にドライバーを削除し、再インストールをおこなってください。そのとき、可能であればPCIスロットを変更してください。
- パソコン本体のシリアルポートを使用不可 (Disable) に設定してください (可能な場合のみ)。設定方法はパソコンのマニュアルをご参照ください。

5 -3. その他

●通信速度について

モデムに通信機器（電話機、FAX）をつけていた場合や、電話線を分岐器で分配した場合は通信速度が遅くなる場合があります。
これらをはずして、接続してください。

●ISDNターミナルアダプターのアナログポートに接続する場合

ターミナルアダプターには、ひとつのアナログポートに1台のアナログ機器しか接続できないものがあります。
ご使用のターミナルアダプターの説明書をご確認ください。

●FAXソフトを利用して送受信する場合

FAXソフトをインストール後、モデムを組み込むと正常に動作しない場合があります。一旦FAXソフトをアンインストール後、再度インストールしてご確認ください。

FAXソフトの初期値は“受信しない”設定になっている場合があります。
送信可能にもかかわらず受信出来ない場合、一度設定を再確認してください。
（詳細はFAXソフトのメーカーへお問い合わせください。）

●ダイヤルアップ接続について

ダイヤルアップ接続で接続時正常に接続できない場合、他のソフトウェア（ターミナルソフトやFAXソフトなど）で通信をご確認ください。
もし通信可能であれば、ダイヤルアップ接続側の問題である可能性があります。
一度新規で作成し直しても同様かご確認ください。
（詳細はMicrosoft社にお問い合わせください。）

6

お問い合わせ

6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪：06-6633-0190 東京：03-5207-6410
FAX：06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

6-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。

なお、修理は部品修理ではなく全交換修理となる場合がありますことをご了承ください。修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

<製品送付先> ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL：06-6633-0190

<送付頂くもの> ・本製品の保証書の原本
 ・製品
 ・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

<送付方法> 宅配便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
 弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
 輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

<修理費用> 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。
 詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

7

一般仕様

型番	REX-PCI56CX	
名称	56K DATA/14.4K FAX MODEM PCIボード	
対応OS	Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP/2000 ※32ビット・64ビット両対応。(Windows2000除く)	
対応機種	PCIスロット (PCI Rev.2.1以上) を装備したWindows PC	
バスインターフェイス	32ビットPCIバス (PCI Local Bus Specification Rev.2.2準拠)	
データ速度	115,200bps	
NCU部	通信回線	アナログ公衆回線 (1回線・2線式モジュラー)
	NCU形式	AA (自動発着信)
	ダイヤル形式	ダイヤルパルス式 (10pps/20pps)、プッシュトーン式
	NCU制御コマンド	ATコマンド、EIA class1コマンド (EIA-578)
データ通信機能	通信方式	全二重
	同期方式	調歩同期式 (非同期)
	通信速度	56000 (受信のみ) /48000/33600/31200/28800/14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
	通信規格	ITU-T V.92/V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.23/V.22bis/V.21、BELL 212A/103
	エラー訂正機能	MNP 2-4、ITU-T V.42 (LAPM)
	データ圧縮機能	MNP 5、ITU V.42bis/V.44
FAX機能	伝送制御機能	TIA/EIA 578 Class Fax
	通信方式	半二重
	同期方式	調歩同期式 (非同期)
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格	ITU-T V.17/V.29/V.27/V.21	
電源電圧	+3.3V/+5V (PCIバスより供給)	
動作環境	温度: 0~55℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)	
外形寸法/重量	119.91mm(W)×47mm(L) 突起部含まず/約 55 g	
製品内容	REX-PCI56CX (56K DATA/14.4K FAX MODEM PCIボード)、 Low Profileブラケット、モジュラーケーブル (180cm)、ソフトウェア CD-ROM、ユーザーズマニュアル、保証書	
添付ソフト	ドライバソフトウェア	
保証期間	1年	

- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。

※巻末の補足：「デバイスマネージャーのシステム概要の印刷方法」

- (1) まず、[システム情報]を開きます。
 - Windows 10/8.1/8の場合 : デスクトップ画面左下の[スタート]を右クリックし、メニューから [コントロールパネル]を選択—画面右上の表示方法を[大きいアイコン]に変更—[管理ツール]を選択—[システム情報]を開く
 - Windows 7の場合 : [スタート]メニューの検索ボックスに「システム情報」と入力し、検索結果から[システム情報]を開く
 - Windows Vista/XPの場合 : [スタート]メニューから[すべてのプログラム]—[アクセサリ]—[システムツール]—[システム情報]を開く
 - Windows 2000の場合 : [スタート]メニューから[プログラム]—[アクセサリ]—[システムツール]—[システム情報]を開く
- (2) 次に、システム情報を保存します。
 - Windows 10/8.1/8/7/Vista/XPの場合 : [ファイル]—[エクスポート] を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存
 - Windows 2000の場合 : [操作]—[一覧のエクスポート] を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

REX-PCI56CX 質問用紙

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。(第5.0版)

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛 **FAX : 06-6633-3553**

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-PCI56CX	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	【Windows】 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 8.1 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> 2000 ※該当にチェック/記入 ⇒ <input type="checkbox"/> Service Pack () を適用 <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows : デバイスマネージャーのシステム概要※P36参照 <input type="checkbox"/> その他 ()			

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。 <http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

